

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表: 令和 3年3月11日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標,工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1		・活動に合わせたレイアウトをしている ・勉強スペースと遊びスペース、習字をする机、おやつを食べる机等、十分なスペースが確保されている
	2	職員の配置数は適切である	4			・適切に余裕を持った配置が出来ている ・常時、利用者の数に対して職員の数配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3		・学校の中にあることで不便なこともある ・ある程度バリアフリーになっていない所も利用したが ・学校内にあり、エレベーターや多目的トイレがある ・ドアが開閉しやすいと子どもでも一人で開閉しやすい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2		・ある程度している ・ミーティングを通して出来ている ・毎日ミーティングを行い、日々の業務を振り返り、計画等を行えている。また、記録を他スタッフで共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		・アンケート調査を実施し、把握している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		1	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		1	・学校の職員に行っている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1		・行っていると思う ・ミーティングの時に研修を行った ・職員の希望する研修や必要な研修会に参加している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		・保護者、担任から話を聞き課題の分析を行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		3	1	・学校でしている ・子どもの状況に応じてその時に必要な対応を工夫している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1		・毎日のミーティングの時に行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1		・その時の利用者の人数や状況に応じて工夫している ・ミーティング等で行っている ・硬筆や毛筆、クッキング、四季に合った行事など工夫して取り入れている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1		・季節や天候を考えて、利用者全員が参加できる課題を決め設定している ・その時の利用者の人数や状況に応じて工夫している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・毎日行えている ・毎日時間を決め職員のミーティングを行い、その日の支援内容や役割分担について確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	1	・毎日行えている ・子どもの怪我やその日の体調について、又、保護者や担任からの連絡内容を職員間で共有している ・気づいた時にすぐに共有するようにしているが、時間が取れず報告できないこともあり次の日になることもある
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・スタッフ間で確認しながら記録している ・毎日個別に支援の記録を取り、支援の検証、改善に繋げている ・毎日行えている
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1		・実施している
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	2			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・している ・主任が参加している 		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有がしっかりとなされている(校内なので)連絡も密にしている 		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に別室で控えてもらっている 		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ敷地内に事業所、幼稚部があり、情報共有しやすい 		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡連携がとられている ・専門機関、学校から助言を受けることはある 	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡連携がとられている ・専門機関、学校から助言を受けることはある 	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・久留米市中高生ボランティア体験活動と一緒に活動することはある ・近隣の学校と交流がある ・コロナ禍のためできていない 	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			<ul style="list-style-type: none"> ・よく話し合いがもたれ、共通理解をしている ・面談時、送迎時に行っている ・毎日のお迎え時にその日の子どもの状況を保護者に伝え、課題については共通理解を持っている 	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対して助言することはある 		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・面談時、送迎時に相談を受け必要な助言と支援を行っている ・日々の連絡時や空いた時間に相談や悩み等気軽に話せるようにしている 	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	2		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで協議、対応している ・苦情受付担当者、解決責任者がいて迅速かつ適切に対応している 	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度、活動概要や行事予定を載せたお便りを配布している ・お便りで日々の活動を知らせている。また、LINE等の連絡も迅速である 	
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・LINEやお便りで対応すると共に、口頭で情報共有を図っている ・手話や筆談、絵を使っている 	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でできないこともある 	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを掲示し、いつでも対応できるようにしている ・随時知らせている ・各マニュアルを各部屋の見えところに掲示している 	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理チームを中心に定期的に避難訓練や毎月ヘルメットを被っている ・訓練を行えている 	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修で講師を呼び、全員で虐待を防止するため学習している 	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		4	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的に決定していない ・今のところ対象となる子どもはいない 	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在利用者に食物アレルギーを持つ子どもはいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを記録し、ミーティング時に事業所内で共有している